

愛媛大学 森林環境管理学リカレントプログラム

令和3年度受講生募集要項 第2次募集



愛媛大学農学部

1. リカレントプログラムの目的

現在、日本の人工林は、その利用に適した成熟期を迎えています。バイオマス発電等のバイオマスエネルギーへの利用や CLT 等、新しい分野への原料供給のために、B 材、C 材や低質材の需要は増えつつあります。しかしながら住宅用材として需要が見込まれる A 材は、長期に亘る住宅着工戸数の減少により、川上・川中・川下を問わず、業として低迷したままの状態が今後も続くことが予想されており、さらには、国民生活に様々な機能を発揮する森林の管理に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

こうした中、森林環境管理学リカレントプログラムでは、その道の第一線で活躍される有識者と実務者を講師に迎えて実践的な教育を行い、林業、木材製造業、建築業の垣根を越え、森林管理に新たなビジネスチャンスを見出し、森林を未来に繋ぐ資源として地域の振興を推進する技術と能力を有した人材育成を行うことを目的とします。

また、森林経営管理法（法律第 35 号 H30.6.1）に基づき、平成 31 年度から開始された「新たな森林管理システム」の指導・運営に携わる人材の育成についても目的とします。

2. プログラムの種類

(1) 総合プログラム

総合プログラムは、森林・林業・木材製造業の知識と経験に合わせて、ベーシック、マネジメント、コーディネーターの 3 つの異なるレベルのプログラムが選択できます。それぞれのプログラムは、基本的には 1 年のプログラムですが、仕事の事情で最長 2 年に渡る履修も可能です。また、1 年に複数のプログラムを受講することも可能です。3 つのプログラムを全て受講すれば、愛媛大学長名の履修証明書を発行します。

(2) 自由選択プログラム

自由選択プログラムは、興味のある科目を 1 科目ずつから受講できるプログラムです。また、総合プログラム受講者が、受講するプログラム以外に興味を持った科目を、1 科目ずつ受講することも可能です。

3. 総合プログラムの修了要件

(1) 修了要件

各プログラムともに全科目を受講し、3 つのプログラムを全て修了することが修了要件になります。

(2) 修了証明

修了者には、愛媛大学長名の「履修証明書」(厚生労働省が推進しているジョブ・カードに記載できるもの)を交付しますとともに、「森林経営管理エキスパート」の名称を授与します。

(3) 補足

各プログラムの受講歴・合格履歴は学期・年度を越えて引き継ぎます。
また、受講者が各プログラムについての証明を必要とする場合は、農学部長名で受講証明を発行します。

4. 受講料

(1) 総合プログラム

- 1プログラムにつき年間20,000円
- (2年目以降の継続受講は、年間10,000円)
- ただし、県職員ならびに市町職員等で「新たな森林管理システム」に従事あるいは指導し、首長の推薦がある者は、受講料を免除します。
- ※ 「市町職員等」とは、市町職員の他、委託等によって新たな森林管理システムに携わることとなった者を含めるものとする。

(2) 自由選択プログラム

6時間(1日)につき1,000円

5. 募集人数

(1) 総合プログラム

1プログラムにつき15人程度

(2) 自由選択プログラム

上限なし(ただし、講義によっては上限があります)

6. 受講資格

高等学校卒業程度の学力を有し、森林・林業・木材製造業・建築業等にかかわる者、あるいは山村振興や担い手育成など地域づくり活動等を実践・経験している者、または今後実践しようと考えている者。

総合プログラムについては、県職員ならびに市町職員等で「新たな森林管理システム」に従事あるいは指導する者。

7. 総合プログラムの受講手続き

(1) 受講申請期間

令和3年4月16日(金)までに応募書類を郵送してください。令和3年4月16日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

(2) 受講申請書類

① 受講申請書類と送付方法

「受講申請書(総合)」及び「受講理由書(総合)」を以下のサイトからダウンロードし、必要事項を記入し、140円分の郵便切手を貼った返信用封筒を同封して郵送してください。送付用の封筒には、「森林環境管理学リカレントプログラム受講申請書類(総合) 在中」と朱書きしてください。

② 受講申請書類の請求

ファイルのダウンロードができない場合は郵送いたしますので、「お問い合わせ先」までご請求ください。その際は、送付用の封筒に「森林環境管理学リカレントプログラム受講申請書類(総合) 請求」と朱書きし、長形3号の封筒に、出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、94円分の郵便切手を貼った返信用封筒を送付用の封筒に入れて郵送してください。

ダウンロードサイト URL : <http://morinokuni.agr.ehime-u.ac.jp>

書 類 等	摘 要
受講申請書 (総合)	所定の用紙に必要事項を記入したもの(手書きする際は、黒色のボールペンを使用してください。ダウンロードした Word ファイルへパソコンで打ち込んだものを印刷していただいてもかまいません。)
受講理由書 (総合)	受講の動機や本プログラムを通して学習したい事柄を中心に500字程度で記入してください。また、学力、学業成績以外の能力、特技、これまでの活動の自己分析、社会活動の参加状況とその成果等、アピールできる点がありましたら、具体的に記述してください。 所定の用紙に応募者本人が記入したもの(手書きする際は、黒色のボールペンを使用してください。ダウンロードした Word ファイルへパソコンで打ち込んだものを印刷していただいてもかまいません。)
返信用封筒	長形3号の封筒に、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記し、140円分の郵便切手を貼ったもの。

(3) 受講申請に関する注意事項

- ① 受講申請書類（総合）の記入にあたっては、各用紙の注意事項をよく読んで誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申請後は書類の記載内容の変更は認めません。また書類は返却しません。
- ③ 書類の不備や内容に確認の必要がある場合は、電話またはEメール、郵便にて問い合わせをすることがあります。
- ④ 申請後に住所等の変更があった場合は、速やかに「お問い合わせ先」へ連絡してください。

8. 受講手続き

令和3年4月23日（金）に受講手続き書類を送付します。令和3年5月14日（金）までに、受講料の払い込みと受講手続き書類を送付してください。書類の到着をもって受講手続き完了とします。

9. 自由選択プログラムの受講手続き

(1) 受講申請期間

当該講義開始の2週間前までに、受講申請書（自由）を郵送してください。

(2) 受講申請書

「受講申請書（自由）」を以下のサイトからダウンロードし、必要事項を記入し、140円分の郵便切手を貼った返信用封筒を同封して郵送してください。送付用の封筒には、「森林環境管理学リカレントプログラム受講申請書類（自由）在中」と朱書きしてください。

(3) 受講料の振込み

受講申請書類を受付後に返信用封筒で受講案内書類と振込書をお送りしますので、受講案内書類に指示された締め切り日までに受講料のお振込をお願いします。受講料のお振込を確認後、受講を許可させていただきます。

10. 個人情報の取り扱いについて

提出された受講申請書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、受講申請の事務処理、受講に関する連絡、受講手続関係書類の送付等に利用します。書類に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申請者に連絡する場合があります。また、個人情報は、受講後の業務および調査・研究（受講申請動向の調査・分析等）を行う目的をもって管理します。他の目的での利用および本学部の関係教職員以外への提出は行いません。

11. 問い合わせ先（申請書類送付先）

愛媛大学農学部学務チーム・森林環境管理学リカレントプログラム担当

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

電話：089-946-9806 FAX：089-941-4175

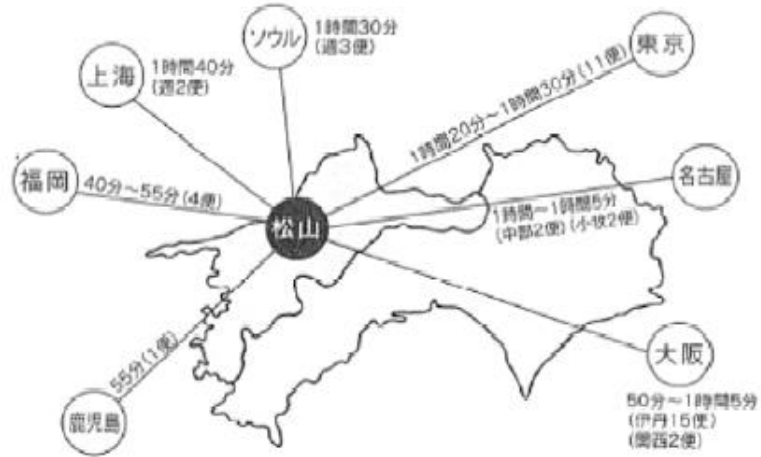
Eメール：morinokuni@agr.ehime-u.ac.jp

12. カリキュラム

プログラム	授業科目名	時間	講義	実習	開講時期	会場	講師
ベーシック	森林・林業入門Ⅰ	18	12	6	5月	久万高原	愛媛県林業研究センター職員 山田容三(愛媛大学教授) 戸田正和(元愛媛県職員)
基礎を知る	森林・林業入門Ⅱ	18	6	12	6月	久万高原	豊田信行(元愛媛県職員)
	森林計測技術論 **	12	12	0	8月	久万高原	竹島喜芳(中部大学准教授) 都築勇人(愛媛大学准教授)
	林業工学概論 *	12	12	0	8月	農学部	鈴木保志(高知大学准教授) 酒井秀夫(東京大学名誉教授)
	森林施業プランナー論	12	6	6	9月	久万高原	牧野耕輔(鹿児島大学特任講師)
	林業経営学概論 *	12	12	0	10月	農学部	松本美香(高知大学准教授) 大田伊久雄(琉球大学教授)
	木材利用論 *	12	12	0	11月	農学部	林 和男(愛媛大学名誉教授) 山崎真理子(名古屋大学准教授)
マネジメント	造林学概論 *	12	12	0	6月	農学部	横井秀一(岐阜県立森林文化アカデミー教授)
知識を深める	野生動物被害防止論 **	12	6	6	6月	農学部	高柳 敦(京都大学准教授)
	精密森林管理論	12	6	6	8月	農学部	竹島喜芳(中部大学准教授)
	労働安全衛生管理論	12	6	6	9月	久万高原	山田容三(愛媛大学教授) 戸田正和(元愛媛県職員)
	森林認証概論 *	12	12	0	10月	農学部	速水 亨(林業家・FSCジャパン副代表) 桂 徹(三菱製紙・FSCジャパン理事)
	森林作業管理論	12	6	6	10月	久万高原	山田容三(愛媛大学教授)
	木材工学論	12	6	6	11月	農学部 久万高原	杉森正敏(愛媛大学教授) 杉元宏行(愛媛大学准教授) 愛媛県林業研究センター職員
	森林関係行政論 *	12	12	0	12月	農学部	枚田邦宏(鹿児島大学教授) 愛媛県森林局職員
コーディネーター	森林生態系論 *	6	6	0	6月	農学部	嶋村鉄也・鍋嶋絵里(愛媛大学准教授)
課題を考える	森林レクリエーション論	12	6	6	7月	久万高原	大浦由美(和歌山大学教授) ジョン・ギヤスライト(中部大学教授)
	森林サービス論 *	6	6	0	7月	久万高原	愛媛県林業研究センター職員
	山地災害防止論 **	12	6	6	9月	農学部	山田 孝(北海道大学教授) 四国森林管理局職員
	木材流通論	6	3	3	10月	サイプレス スナダヤ	榎崎達也(フォレストメディアワークス代表)
	木造建築概論 **	12	12	0	10月	農学部	腰原幹雄(東京大学教授) 安井 昇(桜設計集団代表) 網野禎昭(法政大学教授)
	バイオマス・エネルギー論	6	3	3	11月	見学先	吉岡拓如(東京大学准教授)
	森林産業育成論 *	12	12	0	12月	久万高原	本藤幹雄(久万高原町地域林政アドバイザー) 外部講師
	林業マネジメント論 *	12	12	0	1月	農学部	長谷川香織(紋別バイオマス発電株式会社) 外部講師
	地域資源管理論 *	12	12	0	1月	農学部	山田容三(愛媛大学教授) 笠松浩樹(愛媛大学特任講師)

- 講義は全て集中講義形式で行います。
- 一部の講義に大学院生・大学生と一緒に受講します。
- *は遠隔受講が可能な講義です。
- **は公開セミナーでの開催を予定しています。

Air Line



access

